

お客さまへ

ご使用前に、この「取扱説明書」を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なお役立てください。

E770Z722H50

このたびは三菱照明器具をお買い上げいただきありがとうございました。

安全のために必ずお守りください

図記号の意味は次のとおりです。

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を△警告、△注意の表示で区分して説明しています。表示の意味は表中で説明しています。

- ⊘ 絶対に行わないでください。
- ⚠ 必ず指示に従って行ってください。

警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	
⊘ 禁止	<p>器具の改造や指定部品以外の交換はしない。(火災・感電・落下の原因)</p> <p>器具を布や紙などで覆わない。(可燃物をかぶせて使うと火災の原因)</p> <p>引火する危険のある雰囲気を使わない。(火災の原因)</p>
⊘ 禁止	<p>器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。(火災・感電の原因)</p> <p>ぬれた手で防水プラグを触らない。(感電の原因)</p> <p>電源コードは、足を引っ掛けそうな場所にはわせない。(転倒によるけがの原因)</p>

注意 誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの	
⊘ 禁止	<p>お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士の資格が必要です。(火災・感電の原因)</p> <p>器具の真下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。(過熱して火災の原因)</p> <p>LEDの光を直視しない。(長時間直視すると目を痛める原因)</p>
⊘ 禁止	<p>防水プラグを抜くときは必ず防水プラグをもって抜く。(電源コードが破損し、火災・感電の原因)</p> <p>電源コードをコンクリートや土で埋めない。(電源コードが損傷し、火災・感電の原因)</p>
⚠ 厳守	<p>明るく安全にご使用いただくために半年に1回の保守・点検を行う。</p>
<p>● 照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。LED光源は寿命が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯出来るからといって継続して使用が可能というわけではありません。</p> <p>※ 使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。</p>	
<p>● 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。</p> <p>● 3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。</p> <p>● 点検せずに長時間使用し続けると、まれに発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。</p>	

器具の清掃

警告 電源スイッチを切ってから行う (感電の原因)

<器具のお手入れについて>
器具の汚れは、柔らかい布をうすめた中性洗剤につけてよくしぼってから拭きとり、さらに洗剤成分が残らないようによくしぼった水拭き用の柔らかい布で仕上げてください。
シンナー、ベンジン、みがき粉やたわし、熱湯、アルカリ性洗剤、薬品などは使用しないでください。

<カバーのお手入れについて>
カバーはキズつきやすいのでメガネ拭き等柔らかい布で拭いてください。

■ 防水を目的に使用しているゴムパッキンは使用環境によって劣化が早まり、防水性能が低下する場合がありますので、定期的な点検をおすすめします。

注意
点灯中及び消灯直後の器具には触らない。(高温のためやけどの原因)
清掃の際は手袋を着用する。(けがの原因)

知っておいていただきたいこと

○ 点灯、消灯時にカバー、本体の収縮・膨張により、きしみ音が発生する場合がありますが、異常ではありません。

使用に関するご注意

- LEDにはパルクがあるため、器具内の個々のLEDや同形状の器具でも発光色、明るさが異なる場合があります。予めご了承ください。
- LEDの短寿命のおそれがあるため、直射日光が当たる時間帯は点灯しないでください。
- 壁面や床面等への照射距離が近い時や照射面によっては光ムラが気になる場合があります。ご了承ください。
- 器具ごとに壁面照射部の色味が異なる場合があります。ご了承ください。

保証について

■ 無償修理 ※ 詳細はカタログを参照ください。
照明器具の商品納入日より1年間です。

異常時の処置

警告

煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切り、防水プラグを抜く。(火災・感電の原因)
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

この説明書は、再生紙を使用しています。

三菱電機株式会社

〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船2-14-40

三菱電機照明株式会社

☎ (0467)41-2729 (営業本部)
☎ (0467)41-2773 (品質保証部サービス課)



三菱 LED 照明器具

LED スパイクスポットライト(屋外用)

形名 EL-SE2603C/S・EL-SE2603C/K

取扱説明書

○この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。またアフターサービスもできません。
○電源周波数50Hz、60Hz共用形ですから、日本全国どこでも使用できます。

施工者さまへ

○施工の前に、この「取扱説明書」を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、△警告、△注意の表示で区分して説明しています。表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

- ⊘ 絶対に行わないでください。
- ⚠ 必ず指示に従って行ってください。

警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	
⊘ 禁止	<p>不安定な場所、振動や衝撃が多い場所などに取付けない。(火災・感電・転倒の原因)</p> <p>引火する危険のある雰囲気を使わない。(ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない)(火災の原因)</p>
⊘ 禁止	<p>器具取付けの際は電線を挟まない。(絶縁不良により感電・火災の原因)</p> <p>配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。(絶縁破壊により感電・火災の原因)</p>
⚠ 厳守	<p>施工は電気工事士の有資格者が電気設備の技術基準・内線規程に従って行う。</p>

注意 誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの	
⊘ 禁止	<p>高温(35℃を超える)、粉じん、強い振動、衝撃のある場所で使わない。(転倒・感電・火災の原因)</p> <p>さびの出やすい場所、腐食性ガスが出る場所で使わない。(劣化による転倒の原因)</p> <p>浴室など湿気の多い場所(85%RHを超える)で使わない。(火災・感電の原因)</p> <p>海岸の近くなど、塩害の恐れのある地域で使用しない。(早期にさび、腐食が生じ、落下によるけが・感電・故障の原因)</p> <p>表示された電源電圧以外では使わない。(火災・感電の原因)</p>
⊘ 禁止	<p>狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して使う場合は、放熱を妨げない。(器具が過熱して火災の原因)</p> <p>積雪の期間は器具を取外すか、雪に埋もれないようにする。(漏電・故障・損傷の原因)</p>
⚠ 厳守	<p>調光器との併用をしない。(器具が過熱して火災の原因)</p> <p>風速60m/sを超える強風が吹く恐れのある場所で使わない。(器具破損による転倒の原因)</p> <p>屋内配線(漏電ブレーカーに接続)を行う。(感電の原因)</p>

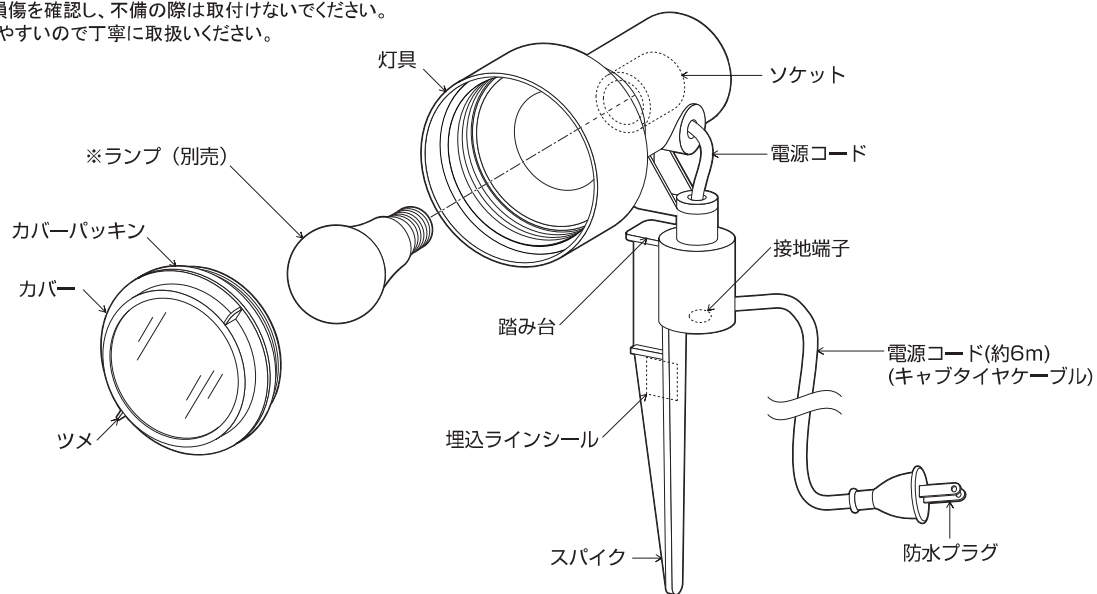
お願い

- 周囲温度は5～35℃の範囲でご使用ください。
- 温泉地など、硫黄成分を含む腐食性ガスが発生する場所での使用はお避けください。光学特性などに不具合が発生することがあります。

適合ランプ	定格電圧	周波数	入力電流	消費電力	口金
LDA7L-G/60/S-A	AC100V	50/60Hz	0.121A	7.2W	E26
LDA6N-G/60/S-A			0.108A	6.4W	
LDA4L-G/40/S-A LDA4N-G/40/S-A			0.073A	4.4W	

■各部のなまえと取付けた △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けしないでください。
※カバーは割れやすいので丁寧に取扱いください。

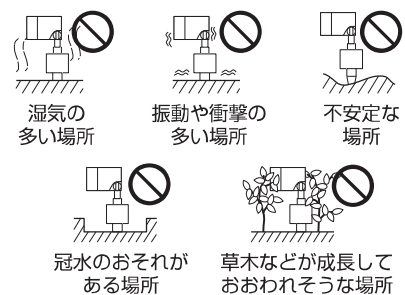


1 取付前の確認

- ①設置場所を確認する。
 - ・不安定な場所、状態で使用しない。

△注意
積雪の期間は器具を取外すか、雪に埋もれないようにする。(漏電・故障・損傷の原因)

△警告
このような場所には取付しないでください。
土壌のしっかりした場所に取付してください。
(火災・感電・転倒によるけがの原因になります)

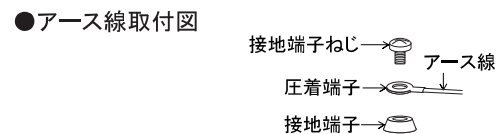


- ②屋外で使用する場合は防水コンセントを使用する。

2 アース線を接続する

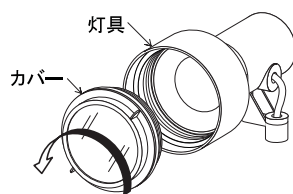
アース線を接地端子に圧着端子を用いて接続する。

△警告
電気設備技術基準に準じてD種(第三種)接地工事を行なう。(接地工事が不完全な場合、感電の原因)



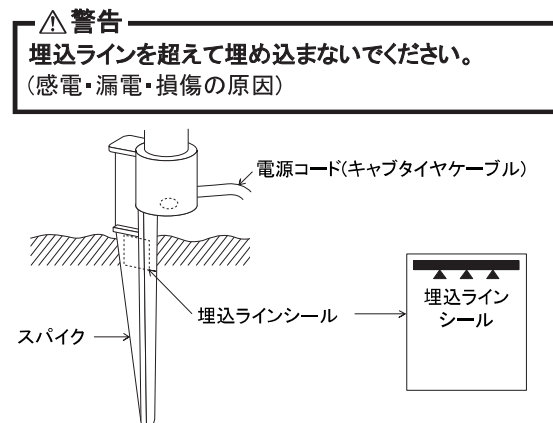
3 カバーを取外す

カバーを矢印方向に回して灯具より取外す。

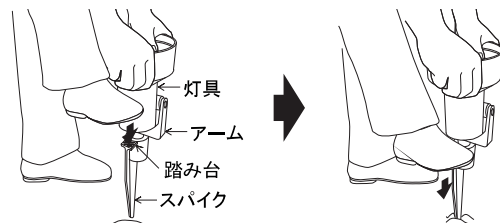


4 スパイクを取付ける

スパイクを埋込ラインシール位置まで、完全に地中に埋め込む。



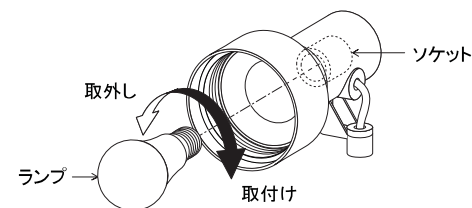
△注意
スパイクを取付けるときは、灯具を持ち、足を踏み台にのせ踏み込んで取付けてください。
灯具に無理な力を加えるとアーム破損の原因になります。



5 ランプを取付ける

ランプの取付けは丁寧に、確実に行ってください。破損によるけがの原因になります。

△警告
指定のランプ以外は使用しないでください。
(白熱電球は使用できません)
(間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因)

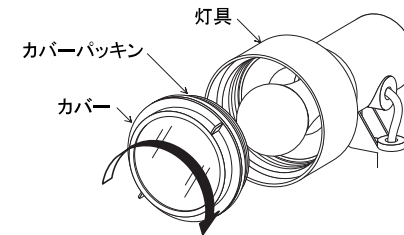


6 カバーを取付ける

カバーを灯具に合わせ、矢印方向に回して取付ける。この際、カバーパッキンがよじれたりしないように確実に取付ける。

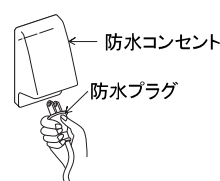
△注意
カバーパッキンがカバーの奥まで入っているか確認してください。

※カバーに無理な力を加えないでください



7 防水プラグを接続する

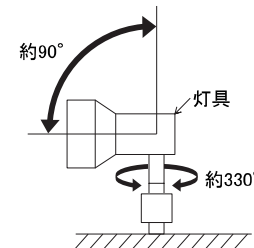
防水コンセントに防水プラグを差し込む。



■照射方向の調節について

- 照射方向を調節する場合は、灯具を持って行ってください。指定範囲以上、無理に動かさないでください。

△注意
灯具と本体のすき間に指を入れない。
(けがの原因)



■ランプ交換について △注意 ランプ交換の際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

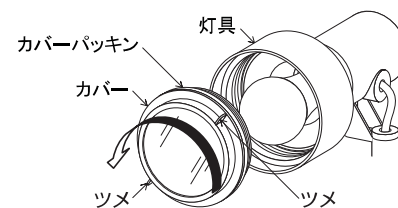
△警告
指定のランプ以外は使用しないでください。
(白熱電球は使用できません)
(間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因)

△注意
点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。
(やけどの原因、しばらくしてから行ってください)

1 電源を切り防水プラグを抜く

2 カバーを取外す

カバーを矢印方向に回して灯具より取外す。



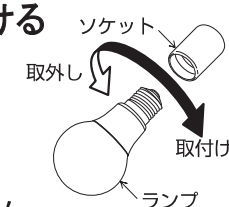
※灯具の温度が高いと、カバーが取外しにくい場合があります。その場合は、カバーのツメの部分を利用して回転させて取外してください。

3 古くなったランプを取外す

4 新しいランプを取付ける

ランプの取付けは丁寧に、確実に行ってください。破損によるけがの原因になります。

※白熱ランプは使用できません。



5 カバーを取付ける

■各部のなまえと取付け方6を参考にカバーを取付ける。

6 使用済みのランプは

必ず市区町村の指示に従い、処理してください。